

「JR四日市駅前への大学設置について」

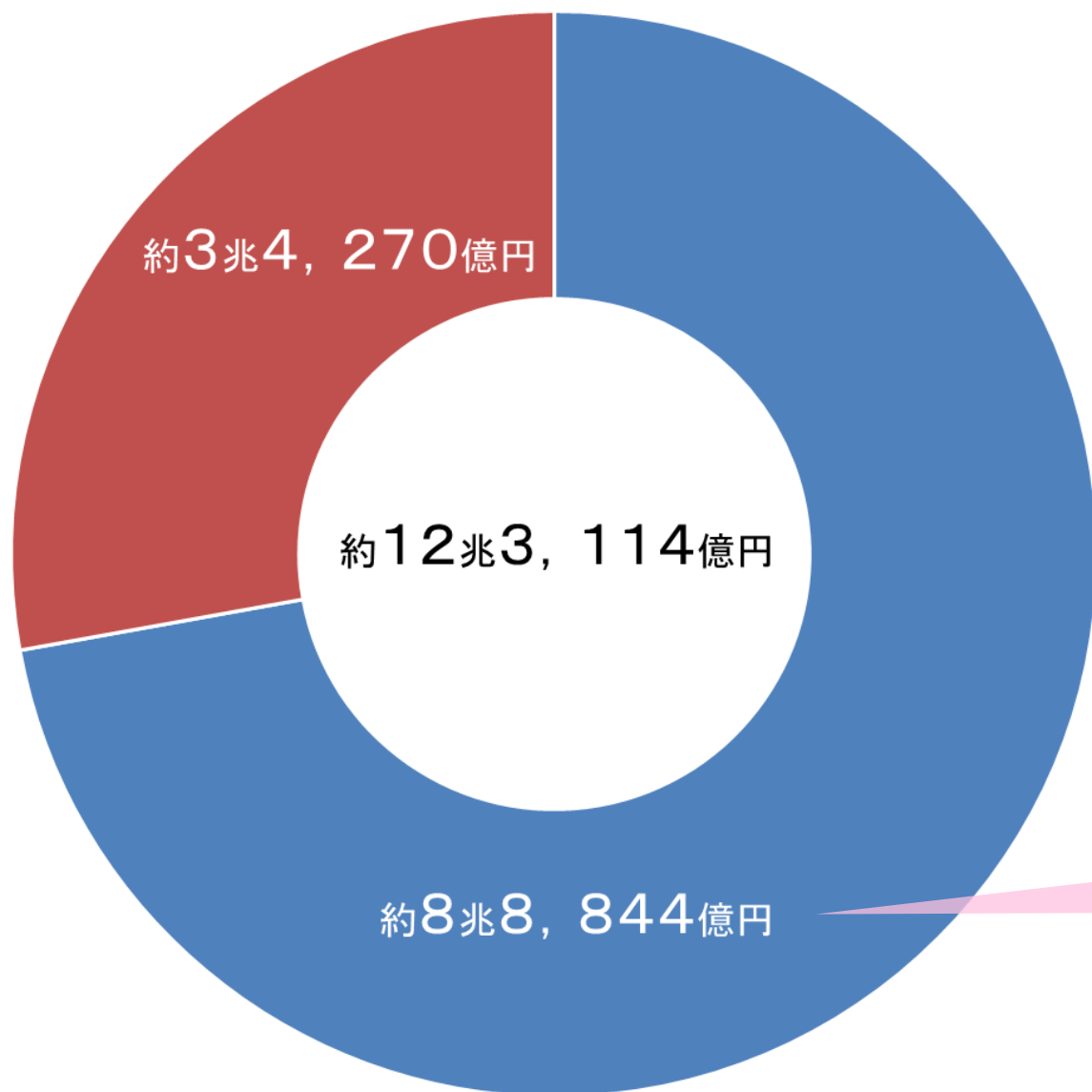
四日市産業共創大学群（仮称）

四日市公立大学（仮称）

三重大学（国立大学）

四日市市長 森智広

北勢 5 市 5 町の現状について～製造品出荷額より～

北勢地域(5市5町)の製造品出荷額割合

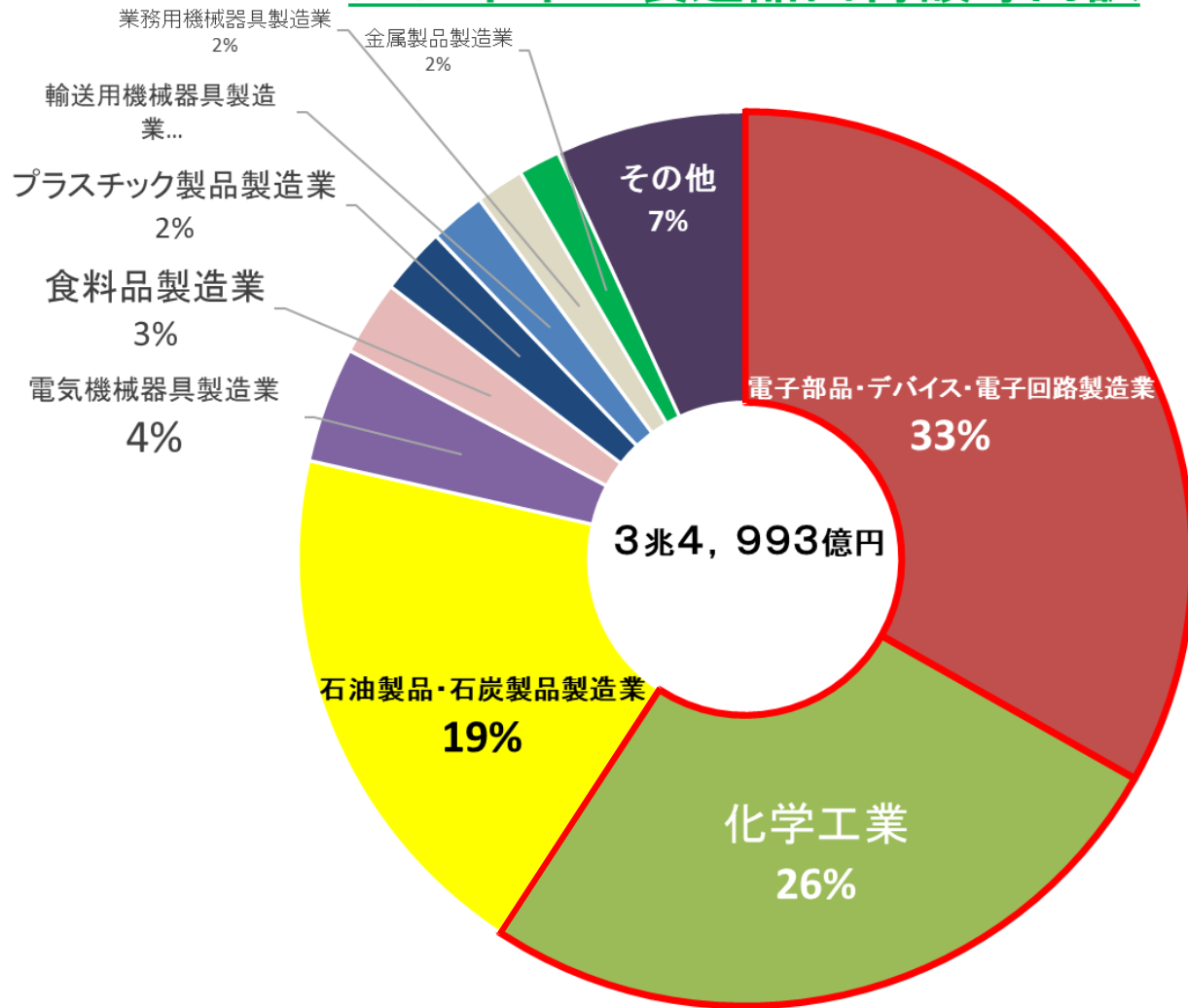
北勢 5 市 5 町は
三重県の製造品出荷額の内、
約 7 2 %を占めている重要地域！

(参考)
岐阜県：約 6 兆 7, 2 0 2 億円

四日市市の現状について～製造品出荷額より～

石油・化学・半導体・自動車・電機・機械・食品など多様な地域産業

四日市市の製造品出荷額等内訳



本市は、製造品出荷額が
全国12位の日本を
代表する産業都市

半導体を含む
電子部品・デバイス・電子回路製造、
コンビナートを中心に**素材**を含む
化学工業
が**約6割**を占める

四日市市の現状について～三重県内での人口減少率は最低～

市町別人口数

市町村名	令和7年			令和2年		増減率(%)
	総数(人)	男(人)	女(人)	総数(人)	増減数(人)	
川越町	15,794	8,067	7,727	15,123	671	4.4
朝日町	11,063	5,445	5,618	11,021	42	0.4
四日市市	303,909	151,643	152,266	305,424	-1,515	-0.5
亀山市	49,168	24,898	24,270	49,835	-667	-1.3
東員町	25,365	12,363	13,002	25,784	-419	-1.6
いなべ市	44,095	22,789	21,306	44,973	-878	-2.0
鈴鹿市	189,871	94,374	95,497	195,670	-5,799	-3.0
菰野町	39,296	19,384	19,912	40,559	-1,263	-3.1
桑名市	133,931	66,001	67,930	138,613	-4,682	-3.4
津市	263,923	128,648	135,275	274,537	-10,614	-3.9
明和町	21,445	10,155	11,290	22,445	-1,000	-4.5
玉城町	14,371	6,877	7,494	15,041	-670	-4.5
木曽岬町	5,714	2,940	2,774	6,023	-309	-5.1
松阪市	150,688	71,962	78,726	159,145	-8,457	-5.3
名張市	72,036	34,590	37,446	76,387	-4,351	-5.7
伊勢市	115,468	54,663	60,805	122,765	-7,297	-5.9
紀宝町	9,640	4,468	5,172	10,321	-681	-6.6
伊賀市	81,871	40,013	41,858	88,766	-6,895	-7.8
多気町	12,908	6,161	6,747	14,021	-1,113	-7.9
度会町	7,221	3,478	3,743	7,847	-626	-8.0
御浜町	7,302	3,437	3,865	8,079	-777	-9.6
大台町	7,794	3,706	4,088	8,668	-874	-10.1
志摩市	40,524	18,683	21,841	46,057	-5,533	-12.0
熊野市	13,988	6,482	7,506	15,965	-1,977	-12.4
尾鷲市	14,134	6,548	7,586	16,252	-2,118	-13.0
鳥羽市	15,129	7,124	8,005	17,525	-2,396	-13.7
紀北町	12,468	5,882	6,583	14,604	-2,136	-14.6
大紀町	6,560	3,065	3,495	7,815	-1,255	-16.1
南伊勢町	9,220	4,272	4,948	10,989	-1,769	-16.1

三重県内において、北勢地域（5市5町）
の人口減少率は比較的低い！

(参考)

四日市市の人口減少率は「－0.5％」

「－0.5％」は神奈川県の人口減少率（全国4位）
と同じ

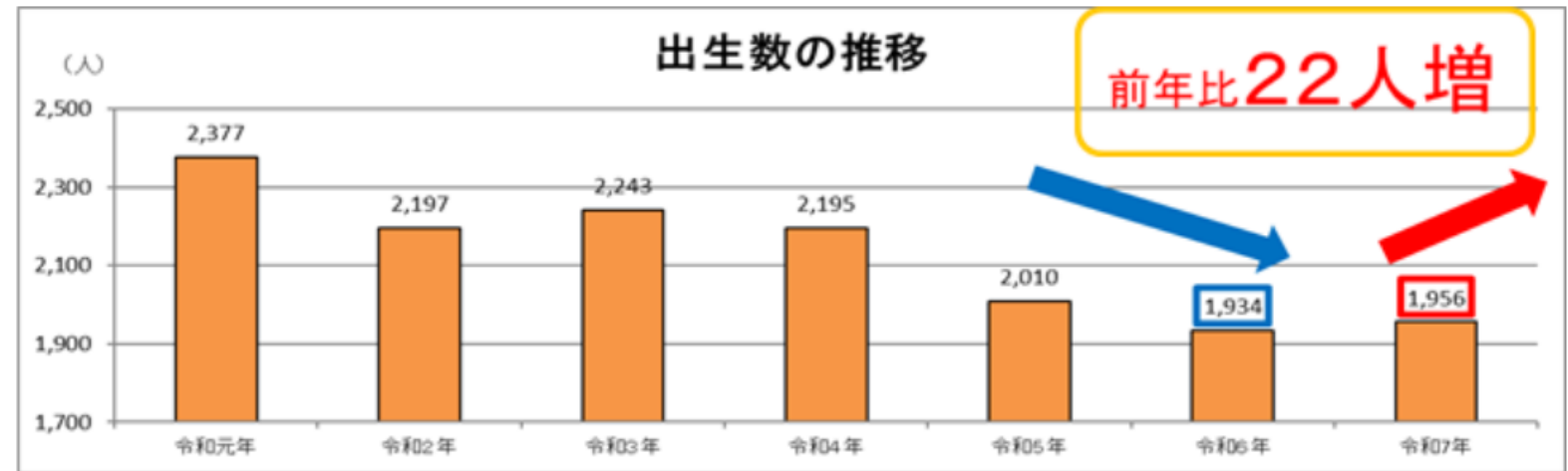
三重県の人口減少率は「－4.3％」で全国24位

四日市市の現状について～人口動態のポイント～

四日市市 令和7年人口は 305,085人（－1,289人：主な要因は自然減）

出生数の増加は、令和3年以降、4年ぶり

※ 自然減「その地域における出生数よりも死亡数が上回り、人口が自然に減少していく現象」



出典：「令和8年03月10日 記者会見資料 四日市市の出生数4年ぶりに増加！」

三重県の現状について ～学生に対する調査より～

問 15 進学にあたり、あなたの希望度が高い専門分野を教えてください。(回答はいくつでも可)。

希望度が高い専門分野は、「工学」が17.9%で最も高く、次いで「商学・経済学・経営学」(16.6%)、「文学・史学・哲学」(13.4%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	文学・史学・哲学	1,159	13.4
2	外国語学	1,001	11.5
3	法学・政治学	733	8.5
4	商学・経済学・経営学	1,437	16.6
5	社会学	508	5.9
6	福祉学	328	3.8
7	理学	936	10.8
8	工学	1,548	17.9
9	情報学	871	10.0
10	農学・獣医畜産学・水産学	499	5.8
11	医学・歯学・薬学	1,058	12.2
12	看護学・保健学	1,136	13.1
13	栄養学	467	5.4
14	家政学・被服学・住居学	170	2.0
15	教育学(幼児教育学・保育学を除く)	1,135	13.1
16	幼児教育学・保育学	680	7.8
17	心理学	757	8.7
18	美術・芸術・デザイン学	615	7.1
19	体育学	606	7.0
20	その他	175	2.0
	不明	102	1.2



県内高校生が学びたい分野

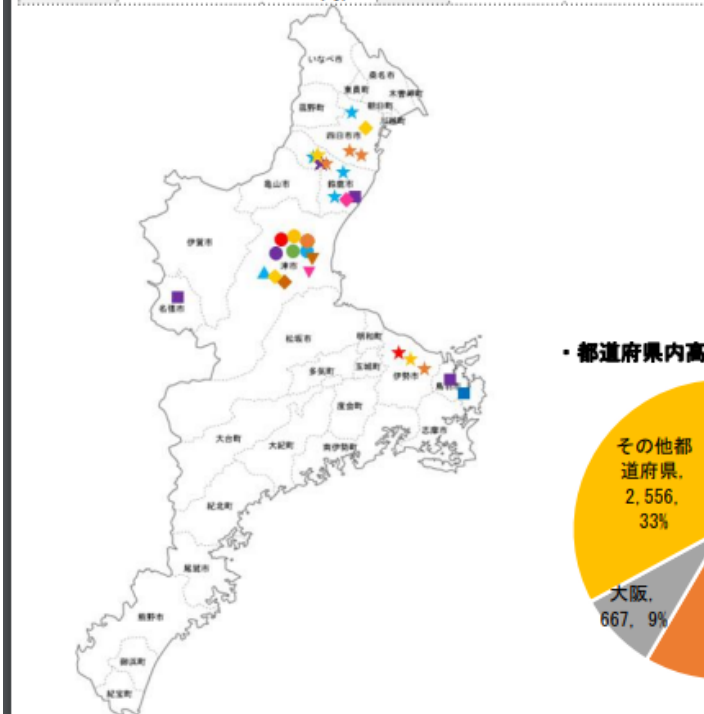
- ・ **工学が1位!**
- ・ **理学、工学いわゆる理工系が約3割!**

三重県の現状について ～理工系の学びの場が不足している～

三重県

● 地域産業に関する基礎データ

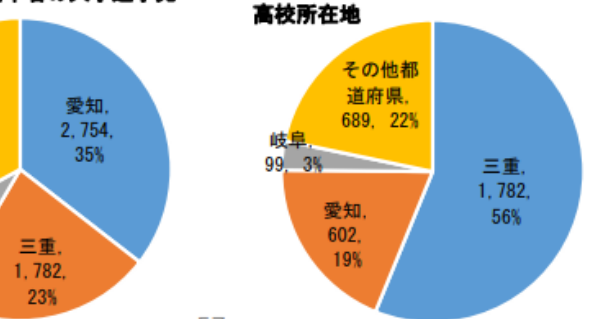
県庁所在地	津市			
人口	1,742	(単位: 1000人)		
人口シェア	1.4%			
5年間人口増減	-59	(単位: 1000人)	事業所数	
名目GDP	8,505,160	(単位: 100万円)	卸売業、小売業	17,457
GDPシェア	1.5%		宿泊業、飲食サービス業	8,046
有効求人倍率	1.07	(R3年4月実績)	建設業	7,422
平均賃金	4812.9	(単位: 1000円)	製造業	207,913
			卸売業、小売業	142,073
			医療、福祉	120,594



● 高等教育に関する基礎データ

18歳人口【2023】	16,491
高校等卒業生数【2023】	14,490
大学進学率【2023】	7,759
大学進学率【2023】	47.0%
大学進学率(国公私立)【2023】	9.5% 2.9% 34.6%
短大進学率【2023】	4.6%
専門学校進学率(現役)【2023】	13.2%
大学数【2023】	7
大学数(国公私立)【2023】	1 1 5
入学定員【2023】	3,130
入学定員(国公私立)【2023】	1,310 100 1,720
大学入学者数【2023】	3,172
県外から流入【2023】	1,390
県内から流出【2023】	5,977
流出入差(流入-流出)【2023】	-4,587
自県進学率【2023】	23.0%
大学進学率推計(合計)【2040】	48.9%
大学進学率推計(男)【2040】	53.4%
大学進学率推計(女)【2040】	44.2%

● 都道府県内高卒者の大学進学先



● 大学学部に関する基礎データ

【国】三重大学(定員合計: 1,310)			
人文学部	●●	245	津市
工学部	●●	400	津市
生物資源学部	●●	260	津市
医学部	●●	205	津市
教育学部	●●	200	津市
【公】三重県立看護大学(定員合計: 100)			
看護学部	▲	100	津市
【私】四日市大学(定員合計: 200)			
総合政策学部	★	130	四日市市
環境情報学部	★	70	四日市市
【私】皇學館大学(定員合計: 620)			
文学部	★	300	伊勢市
現代日本社会学部	★	120	伊勢市
教育学部	★	200	伊勢市
【私】鈴鹿医療科学大学(定員合計: 680)			
医用工学部	★	80	鈴鹿市
保健衛生学部	★	400	鈴鹿市
看護学部	★	100	鈴鹿市
薬学部	★	100	鈴鹿市
【私】鈴鹿大学(定員合計: 170)			
こども教育学部	★	50	鈴鹿市
国際地域学部	★	120	鈴鹿市
【私】四日市看護医療大学(定員合計: 150)			
看護医療学部	★	150	四日市市

● 短期大学の学科に関する基礎データ

【公】三重短期大学(定員合計: 150)			
法経科第1部	▼	100	津市
食物栄養学科	▼	50	津市
【私】ユマニテク短期大学(定員合計: 100)			
幼児保育学科	◆	100	四日市市
【私】高田短期大学(定員合計: 250)			
子ども学科	◆	150	津市
キャリア育成学科	◆	100	津市
【私】鈴鹿大学短期大学部(定員合計: 90)			
生活コミュニケーション学科	◆	90	鈴鹿市



県内で工学分野を学ぶ
ことのできる大学は
1校のみ!

出典:「各都道府県における高等教育の現状に関する調査研究」文部科学省



県内の高校生の約 8 割が県外流出！

三重県外への高校生大学進学者数 6, 1 1 7 人

三重県内の高校生大学進学者数 7, 8 7 5 人

= 7 7 . 6 7 %

出典：「学校基本調査 出身高校の所在地県別 入学者数（令和 7 年度）」文部科学省

三重県内の大学収容力は全国最下位

入学定員 3, 1 3 0 人

1 8 歳人口 1 6, 4 9 1 人

= 1 8 . 9 8 %

（全国平均 4 0 . 5 9 %）

出典：「各都道府県における高等教育の現状に関する調査研究」文部科学省

国の推計について

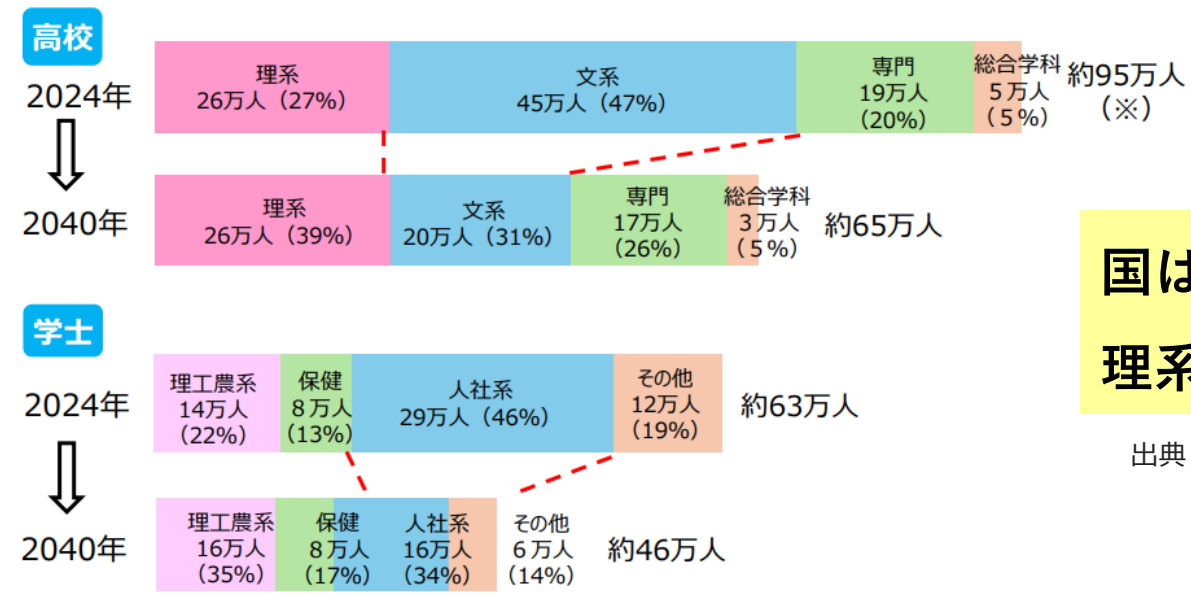


理系人材不足に伴い、将来的に
製造業人材が大幅に**不足**！

出典：経済産業省経済産業政策局
「2040年の就業構造推計（改訂版）について」

	専門職	事務職		現場人材		うち 生産工程従事者		うち その他現場人材	
		うち AI・ロボット等の 利活用を担う人材							
全産業	2040年 需給ミスマッチ	-181万人	-339万人	437万人	-260万人	-206万人	-54万人		
	2040年需要数/供給数	1867万人/1686万人	782万人/443万人	1039万人/1476万人	3283万人/3023万人	731万人/525万人	2552万人/2498万人		
主な産業の 需給ミスマッチの 2040年 内訳	2022年就業者数	1288万人	236万人	1455万人	3637万人	835万人	2803万人		
	農林水産業	-9	-7	-1	-110	-3	-107		
	製造業	-149	-125	-40	-256	-198	-58		
	情報通信業	116	102	50	13	2	11		
	卸売業、小売業	-81	-77	26	-20	-4	-16		
	建設業	-33	-26	20	-31	-2	-30		
	宿泊業、飲食サービス業	-21	-21	2	12	0	12		
	運輸業、郵便業	-25	-26	27	26	0	25		(単位：万人)

(注) 2022年就業者数は、総務省「就業構造基本調査」(令和4年度)、文部科学省「学校基本調査」(令和4年度)の調査票情報を基に経済産業省が独自に作成・加工して利用しており、提供主体が作成・公表している統計等とは異なる。
(注) 産業分類は令和4年就業構造基本調査で用いた産業分類(総務省)による。職業分類は令和4年就業構造基本調査で用いた職業分類(総務省)による。「専門職」は専門的・技術的職業従事者を指す。また、うち「AI・ロボット等利活用人材」は、機械技術者やその他の情報処理関連技術者等の職種を集計。「現場人材」は、生産工程従事者、建設・採掘従事者、サービス職業従事者等の職種を集計。なお、表中には主要な項目のみ掲載しており、ミスマッチ数の合計はゼロにならない。



国は、少子化に対応するための
理系人材比率を**維持・確保**するイメージを示している！

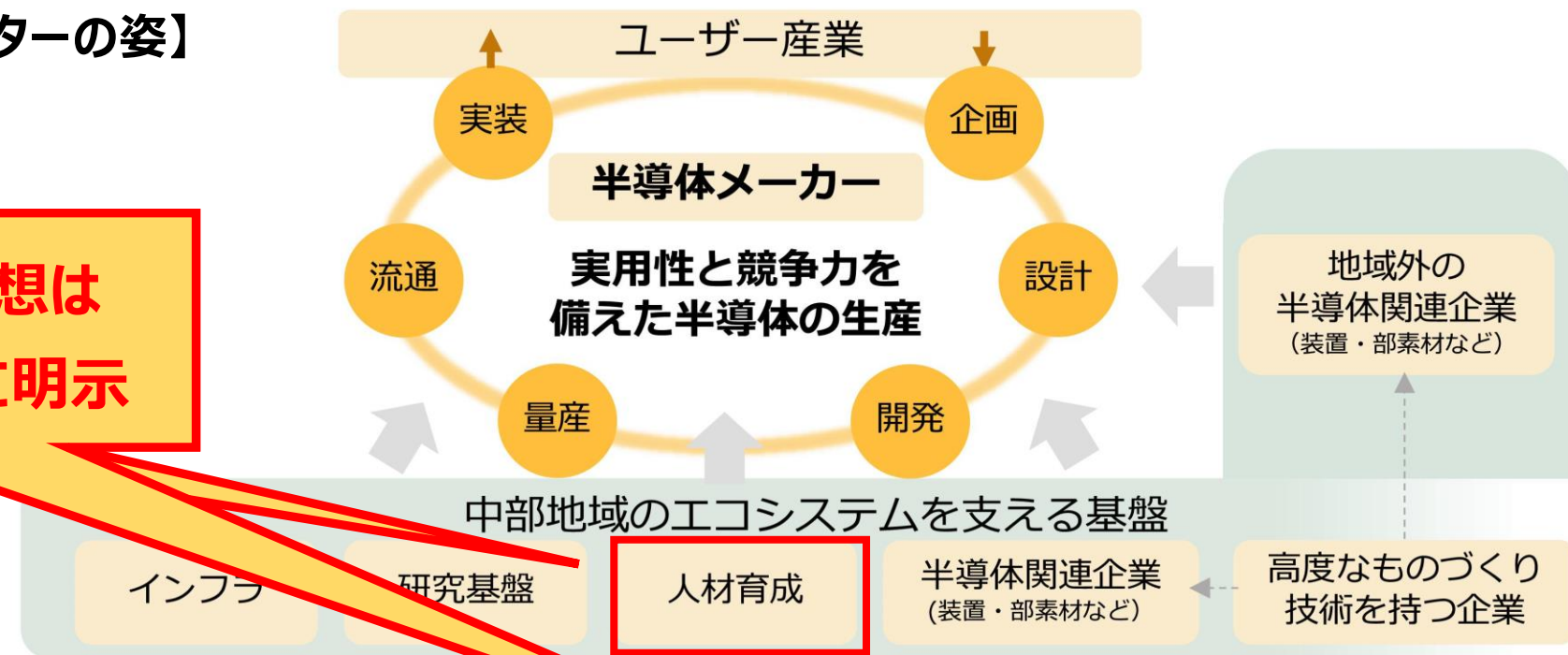
出典：文部科学省
「成長分野転換基金」の公募に向けた事業説明会（第2回）

(※) 高校の文理の内訳については、公益財団法人日本理科教育振興協会「令和6年度 高等学校 理系文系進路選択に関する調査結果」を使用
(※) 大学における理工農系、保健の数には、その他区分のうち理工農系・保健に関連する者の推計を含む。

中部地域の戦略産業クラスター計画（経済産業省）における公立大学の位置づけ

【中部地域が目指すべきクラスターの姿】

本市の公立大学構想は
経済産業省の計画に明示



【クラスター実現に向けた課題と政策パッケージ】

課題

人材

- ・ 業界団体（JEITA）の試算では、今後10年間で中部地域に必要な半導体人材は6,000人。

必要な政策対応の視点

- ・ 公立大学の設置
令和14年度の開学に向けて、JR四日市駅前に公立大学（収容定員400人）を設置予定。同地に一部進出を検討する三重大学工学部と相互に補完した教育研究体系を構築
- ・ 中部地域半導体人材育成等連絡協議会 等

**強み****多様な産業集積**

国の戦略産業クラスター計画において、
産学官の連携強化が求められている。



大学設置でこのチャンスを掴む！！



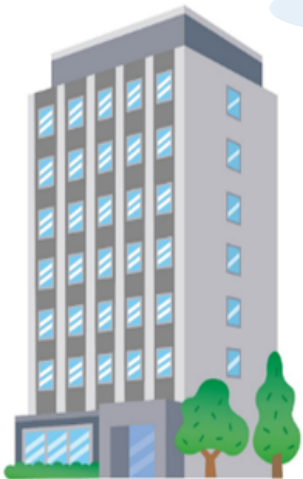
産業都市として、更なる成長・発展に繋げていく！！

J R 四日市駅前への大学設置計画 ～新設大学のイメージ～

新設大学のイメージ

□JR四日市駅前には、本市が中心となって設置する
「公立大学」と「三重大学の新教育研究拠点」を想定。

四日市産業共創大学群構想（仮称）



四日市
公立大学
(仮称)

収容定員400人

+

三重大学
-国立大学-

収容定員400人

～ 令和14年4月 開学予定 ～



J R 四日市駅前への大学設置計画 ～整備コンセプト～

市民・学生・企業をつなぐ、まちに開かれた“**ニワミチ・キャンパス**” 中央通りとの接続イメージ

【低層棟】

- ・学生間交流
- ・地元企業との連携
- ・市民の交流 等…

【高層棟】

- ・大学の管理部門
- ・講義室
- ・研究室
- ・実験室 等…

市民・学生・企業をつなぐ、まちに開かれた“ニワミチ・キャンパス”

方針①：まちに開く

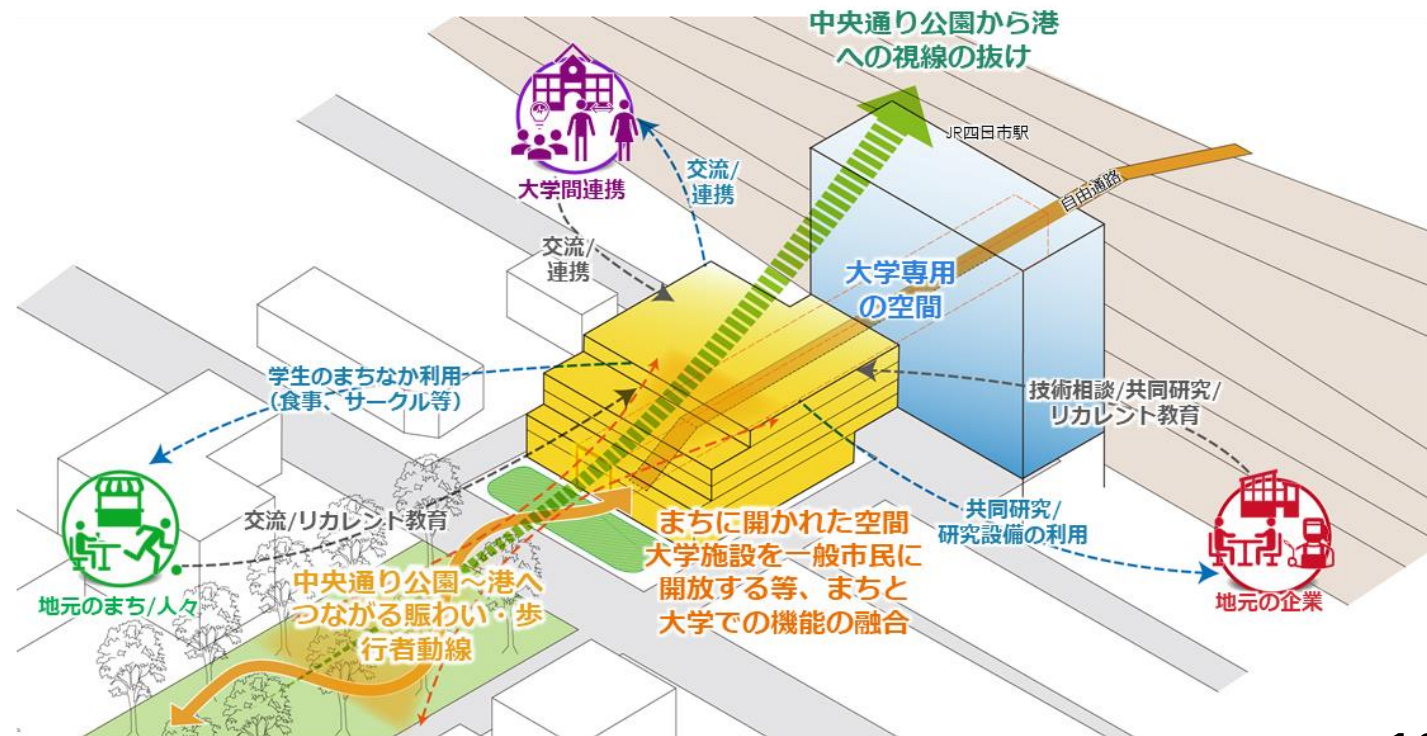
中央通り公園から港側への視線の抜けや、周辺の街との連続性に配慮した施設配置

方針②：まちの機能と融合

新図書館等との連携、大学施設を一般市民に開放する等、まちと大学での機能の融合

方針③：多様な人々の交流拠点

学生間の交流、地元企業との連携、市民の交流等、街の様々な人の活動拠点となる空間づくり





ご清聴いただき、
ありがとうございました！

四日市市長 森 智広